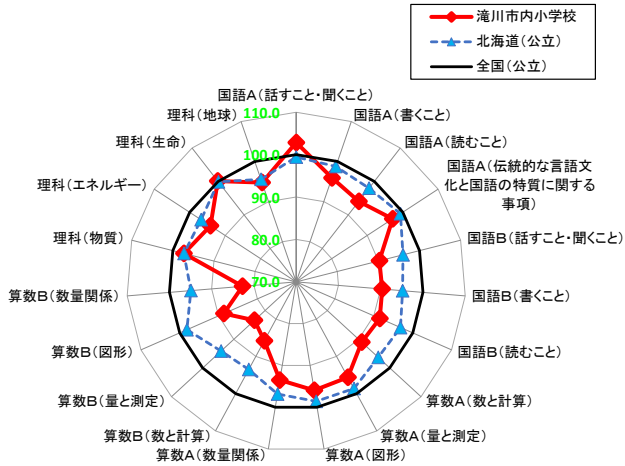


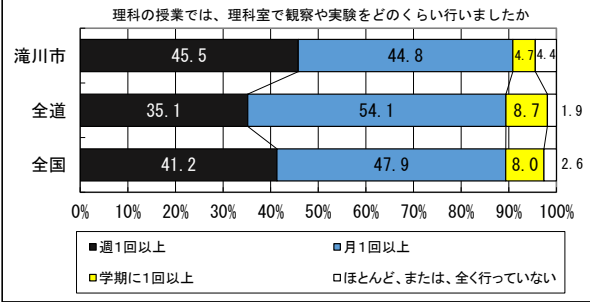
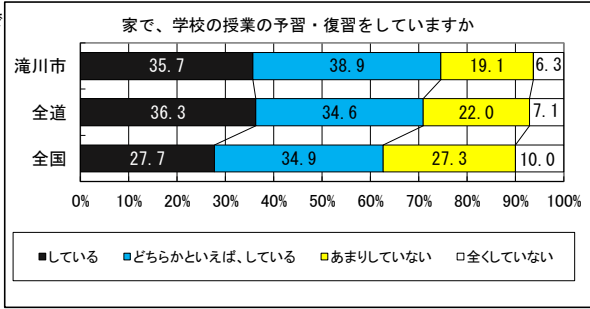
■ 滝川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:319人)

【教科全体の状況】

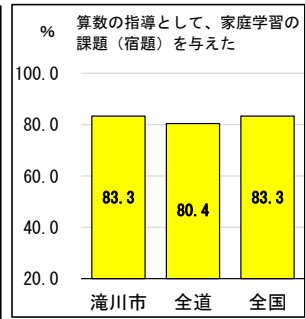
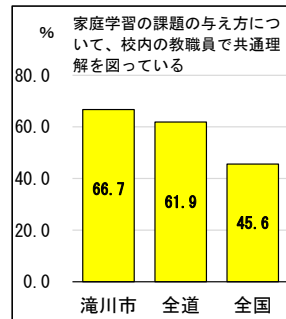
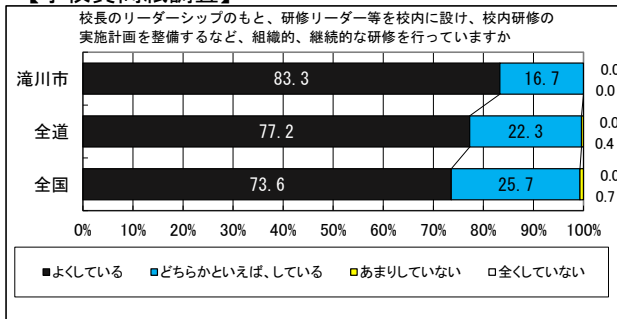
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、組織的、継続的な研修を行うとともに、理科の授業において、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たり週1回以上行った結果、日常の授業改善が図られ、理科の「生命」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業では、理科室で観察や実験を週1回以上行った」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図るとともに、算数の指導として、家庭学習の課題を与えた結果、学校の授業の予習・復習をしている児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた」と回答した学校の割合が、全国と同じである。 	

【滝川市の学力向上策】

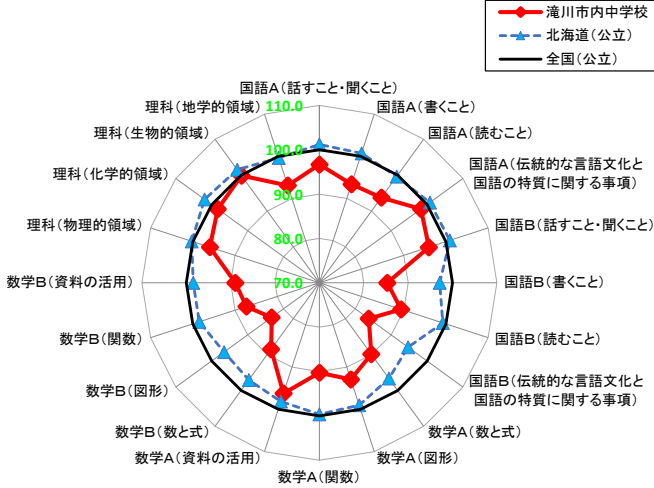
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践による基礎的・基本的な知識や技能を活用する能力の育成
- ◎ 「イングリッシュ・デイキャンプ」の実施を通じた小中学生の英語によるコミュニケーションへの意欲・能力の向上
- ◎ 本市独自の少人数学級実践事業によるきめ細やかな指導・支援の充実
- ◎ 家庭学習の手引による保護者と連携した家庭における予習や復習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業や「学びサポーター」の戦略的配置による少人数指導体制の積極的な推進
- ◎ 道徳科授業の効果的な指導の検証に資する本市独自の「道徳教育推進事業」の継続実施
- ◎ 「特別支援学級支援員」や「学びサポーター」の配置による個に応じた指導と支援の充実
- ◎ 「学校力向上に関する総合実践事業校」の包括的な取組による学校改善モデルの市内小中学校への普及・還元
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業を活用した学校間の取組の発信による積極的な授業改善の推進

滝川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:302人)

【教科全体の状況】

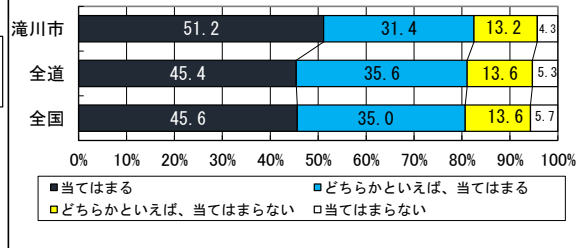
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

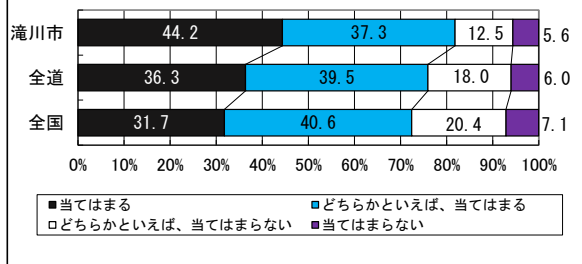


【生徒質問紙調査】

数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

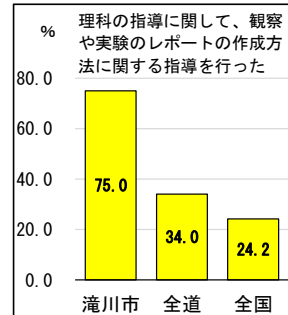
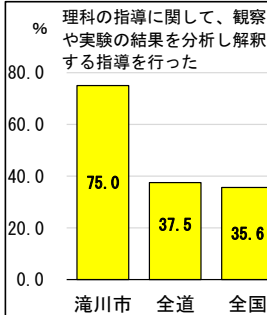
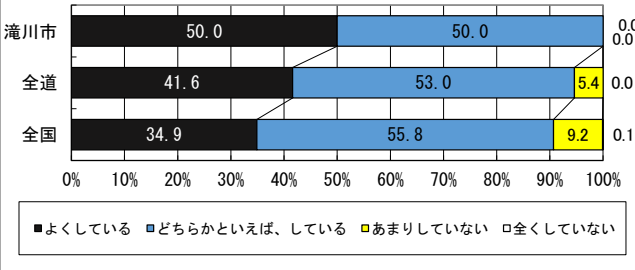


理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか



【学校質問紙調査】

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国に最も近くなっている。
生徒質問紙	○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導に関して、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導に関して、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

【滝川市の学力向上策】

- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践による基礎的・基本的な知識や技能を活用する能力の育成
- ◎ 「イングリッシュ・デイキャンプ」の実施を通じた小中学生の英語によるコミュニケーションへの意欲・能力の向上
- ◎ 本市独自の少人数学級実践事業によるきめ細かな指導・支援の充実
- ◎ 家庭学習の手引による保護者と連携した家庭における予習や復習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業や「学びサポーター」の戦略的配置による少人数指導体制の積極的な推進
- ◎ 道徳科授業の効果的な指導の検証に資する本市独自の「道徳教育推進事業」の継続実施
- ◎ 「特別支援学級支援員」や「学びサポーター」の配置による個に応じた指導と支援の充実
- ◎ 「学校力向上に関する総合実践事業校」の包括的な取組による学校改善モデルの市内小中学校への普及・還元